

高齢者の豊かな経験と能力を活かそう

第112号

令和8年8月

シルバー もりおか

公益社団法人
盛岡市シルバー人材センター
〒020-0885
盛岡市紺屋町2-9 盛岡市勤労福祉会館
TEL 019-622-3363
FAX 019-622-3224
✉ mori-sil@sjc.ne.jp



今回紹介する「旧盛岡貯蓄銀行」(盛岡信用金庫本店)は、昭和2年に建てられたモダンで迫力ある建物です。外壁には花崗岩が貼られ、建物正面の太い列柱が特徴的です。平成30年に、盛岡市の景観重要建造物に指定されています。

※8月号の表紙では、紺屋町界隈の歴史的建造物を紹介します。

公益社団法人 盛岡市シルバー人材センター 令和8年度定時総会開催

令和8年度定時総会は、6月19日(金)午後1時47分から盛岡市勤労福祉会館大ホールにおいて、会員525名（委任状及び議決権行使書含む）の出席のもと、開催されました。

総会に先立ち、小山理事長の挨拶に続き、会員表彰が行われました。次に、盛岡市長内舘茂様（代理出席・盛岡市商工労働部経済企画課長塩田大輔様）の祝辞がありました。

千葉副理事長の開会宣言に続き、出席会員の中から、議長に工藤寿夫会員、議事録署名人に田村正武会員、藤原正木会員がそれぞれ選出されました。

次に、「報告事項」として、報告第1号「令和8年度事業計画について」及び報告第2号「令和8年度収支予算について」、大倉事務局長から一括して説明、両報告は原案のとおり了承されました。

議題に入り、第1号議案「令和7年度事業報告について」及び第2号議案「令和7年度収支決算について」、事務局長から一括して概要を説明、両議案は原案のとおり可決されました。

以上、議事の一切を終了し、午後2時45分、全日程を終了しました。



挨拶（要旨）

理事長 小山 和良



昨年度を振り返りますと国内、県内ともに景気は回復基調とされておりますが、それを実感できるような状況ではないというのが多くの方々の本音ではなかったでしょうか。

そのような中、昨年度当センターでは経費の削減、事務の効率化などを図りながら各事業を実施するとともに、会員獲得や就業先確保、センター事業の普及啓発に努めたところですが、全体の契約金額は前年度を下回る結果となり、最終的には約65万円の赤字となりました。

新年度も、円安等による物価高や一部商品の品薄の懸念、昨年同様の猛暑が予想されるほか熊の出没による影響が心配されるなど当センターにとって厳しい環境が続くものと予想されますが、やまない雨はありません。前を向いて歩んでいきたいと思います。

当センターとしては、就業機会の拡大や安全・適正就業の推進など、第三次中期計画の目標達成に向け、会員・役職員が一体となり、積極的にセンター事業を推進してまいります。

昨年度国内の労働力人口が7000万人を超え、これは高齢者と女性の就労が支えている数字です。今後も「急激な人口減少が進む日本」を支えていくのは働く意欲のある元気な高齢者であると確信しております。そのためにも、シルバー人材センターの健全な運営と発展が一つの柱となると考え、今後も努力を続けてまいりますので、皆様方の変わらぬ御指導、御支援をよろしくお願いいたします。



祝 辞（要旨）

盛岡市長 内 舘 茂



公益社団法人盛岡市シルバー人材センターの令和8年度定時総会が盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。

貴センターは、昭和55年の設立以来、高齢者の就業機会の確保を通して、生きがいの充実と健康づくりに寄与されるとともに、地域社会の活性化、福祉の向上に貢献してこられましたことに、感謝申し上げます。

また、永年にわたりシルバー人材センターの発展に寄与され、本日表彰の栄誉を受けられた皆様方に、深く敬意を表します。

さて、人生百年時代と言われる今日において、高齢者が生涯現役として多様な形で社会参加することが求められています。本市においては、高齢者が健康で生きがいを持ちいきいきと暮らすことができる長寿社会の実現に向け、今後ともシルバー人材センター事業を支援することで、高齢者の豊かな知識や能力を生かした就業機会の充実に取り組んでまいります。

本市のまちづくりの指針である市総合計画の将来像には、「輝きが増し 活力に満ち 夢をかなえるまち盛岡」を掲げており、市民、民間事業者、行政が垣根を越え、お互いの強みを活かし、共に力を合わせて持続可能なまちを創っていききたいという思いを込めております。「市政は常に市民と共に」を大切にしながら、市民の皆様と、次世代に希望を託す盛岡の未来の礎を築いてまいりたいと考えておりますので、共に魅力のある盛岡を創ってまいりましょう。

結びに、盛岡市シルバー人材センターの益々の御発展と、本日御参会の皆様の御健勝を祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

小山新理事長が就任しました

晴山理事長が令和8年3月31日付けで辞任したことに伴い、おやまかずよし小山和良理事長が4月1日付けで就任しました。

現在の役員は次のとおりです。

理 事 長	小 山 和 良
副理事長	千 葉 吉 信
常務理事	大 倉 慎 澄
理 事	石 澤 妙 子
理 事	井 上 伴 子
理 事	小野寺 文 男
理 事	中 澤 茂
理 事	晴 山 宏
理 事	平 藤 由美子
理 事	細 川 恒
監 事	勝馬田 晋
監 事	藤 原 真 人

理事長就任あいさつ

本年4月1日に理事長を拝命した小山和良と申します。国内も県内も確実に進んでいく人口減少・高齢社会の中で不足していく労働力を補い、社会を支えていく一つの柱は働く意欲ある高齢者であることは間違いありません。シルバー人材センターはそのような高齢者の方々と一時的な労働力を求めている方々との最適なマッチングを進める役割を担っており、今後ますますその役割は大事なものとなってまいります。

私は役職員と共に、さらに多くの働く意欲ある方々を会員としてお迎えし、できるだけ多くの安心・安全な仕事を提供していけるよう努力を続けてまいります。

会員の方々にはこれまで同様シルバー事業への御理解と御協力をお願い申し上げ、理事長就任に当たっての御挨拶とさせていただきます。

令和8年度 被表彰者

令和8年度定時総会において表彰された皆様を紹介します。

【敬称略・五十音順】

○会員表彰（15名）（10年以上在籍し、他の会員の模範となる者）

川 村 憲 子（手づくり教室を中心に活動）	穂 積 フサ子（除草作業を中心に就業）
菊 地 正七郎（屋外作業を中心に就業）	本 荘 秀 治（屋内清掃作業を中心に就業）
木 村 正 孝（施設管理業務を中心に就業）	本 堂 文 夫（機械除草作業を中心に就業）
斉 藤 秋 男（大工作業を中心に就業）	前 川 昭 助（除草作業を中心に就業）
佐々木 久與夫（施設送迎業務を中心に就業）	南屋敷 康 吉（宿直業務を中心に就業）
中 村 英 治（屋外清掃作業を中心に就業）	宮 野 俊 夫（除雪作業を中心に就業）
畠 山 幹 男（ボイラー管理業務を中心に就業）	吉 田 義 政（電気工事作業を中心に就業）
藤 澤 武 夫（屋内清掃作業を中心に就業）	



川村 憲子



菊地 正七郎



木村 正孝



斉藤 秋男



佐々木久與夫



中村 英治



畠山 幹男



藤澤 武夫



穂積 フサ子



本荘 秀治



本堂 文夫



前川 昭助



南屋敷康吉



宮野 俊夫



吉田 義政

会員の文芸

《短歌》

年古れば何故か愛しい生命の
幼児や動物そして草花

拘らず普通の人で終わるべく

普通の日々を重ねて生きる
(佐々木 植伸)

《俳句》

一日を大事に生くる五月尽

戦争と係わらずして松手入れ
(佐々木 植伸)

《川柳》

またトラを選びし米の国民性

松もみじ「今年も頼む」客のT.E.L
(佐々木 植伸)

会員の文芸原稿募集

短歌・俳句・川柳などの
作品を募集中です。
事務局へお送りください。

令和8年度 安全・適正就業推進計画

例年7月は、全国のシルバー人材センターが「安全・適正就業強化月間」として取り組みを行っています。当センターでは年間計画を立て、会員の健康と安全就業について、次のような取り組みをしていきます。

◆ 重点目標 「安全はすべてに優先する 安全無くして就業なし」 ◆

事業計画	事業計画の内容
1 安全・適正就業委員会開催	◎第1回安全・適正就業委員会 開催予定日 令和8年7月下旬 ・令和7年度全国重篤事故発生状況 ◎第2回安全・適正就業委員会 開催予定日 令和9年2月下旬 ・令和9年度安全・適正就業推進計画(案) ・就業期間満了に伴う就業会員の交代
2 強化月間の取り組み	◎全シ協の「安全・適正就業強化月間実施要領」に基づき実施 ・委員会の開催 ・事故要因の分析と防止策の徹底 ・重篤事故につながる就業の見直し ・就業途上における交通事故の撲滅 ・安全・適正就業対策の総点検
3 安全・適正就業パトロール	◎4月から11月まで各月1回、就業現場の巡回指導を実施 ・7月は、安全・適正就業委員会の開催に合わせ全委員で実施 ・その他の月は、委員長及び委員1名で実施
4 安全・適正就業推進研修会 (県連合会主催)	◎開催予定日 令和8年7月下旬 ・内容 未定
5 就業安全講習会の開催	◎開催予定日 令和9年2月 ・高齢者の交通安全と救急救命法
6 刈払機取扱作業従事者安全 衛生教育	◎開催予定日 令和9年3月 ・内容 機械除草における安全確保のため、宮古職業訓練協会に依頼し実施
7 派遣登録会員に対する教育 訓練	◎開催予定日 令和9年3月 ・内容 ビジネスマナーに関する講習
8 事故発生状況の把握	・事故発生状況を理事会等で報告 ・再発防止に向けた事故発生原因の分析
9 情報提供	◎会報「シルバーもりおか」による情報提供 ・当センターにおける事故発生状況 ・全国における重篤事故発生状況 ・交通事故防止や熱中症対策等

みんなで楽しく！ 地域への感謝と普及啓発活動！

公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会では、毎年10月を「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」とし、その中で第3土曜日を「シルバーの日」と定め、全国一斉に普及啓発活動を実施することとしています。

当センターにおいても様々な活動を予定しており、各地域班では、地域への感謝を込めて美化活動等のボランティア活動を行いますので、会員の皆さんには積極的な参加をお願いします。

◆今年度のシルバーの日は10月17日(土)です。



昨年の
活動の様子

安全・適正就業ニュース

(公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会「安全就業ニュース」より)

★ 令和7年度 重篤事故が過去5年間で最多 ★

令和7年度、全国の重篤事故は44件で、前年度と比較して8件増加しました。

就業途上の死亡事故及び重篤事故は令和6年度より減少しましたが、一方で就業中の重篤事故は35件と大幅に増加(昨年度比13件増)しました。そのうち23件が死亡事故となっています。就業中の事故件数は過去5年間で最多、死亡事故は過去最高となるなど、極めて深刻な状況にあります。

仕事の内容別に見ると、剪定作業と除草作業で全体の7割以上を占めており、そのうち6割は墜落・転落によるものでした。事故の原因は、剪定作業はすべて脚立・梯子からの転落、除草作業は法面でバランスを崩したことによる転落事故等でした。

これらの事故のうち、保護帽を着用していない、またはあご紐の固定が不十分であった事例は16件中10件に上っています。保護帽を適切に着用していれば重篤化を防げた可能性もあったと考えられます。

★ 喫緊の課題：就業中の事故防止 ★

令和8年度は、特に発生件数の多い剪定作業における脚立等からの転落事故ゼロを重点目標の一つとして取り組みます。「1mは一命取る」と言われるように、わずか1m程度の高さからの転落であっても頭部を打つなどして命を落とす危険があります。

①保護帽の着用の徹底 ②脚立や足場使用時は安定した設置場所の確保 ③2m以上の高所作業は極力行わない ④樹上作業時は、墜落防止用器具(安全帯)の使用 の徹底をお願いします。より一層強固な安全対策に取り組んでいきましょう。

熱中症の疑いがある場合はためらわずに



今年も酷暑が予想されます。本人に自覚症状がなくても、また、本人から「大丈夫だから」と申し出があっても、熱中症の疑いがある場合は、速やかな対応が必要になります。

熱中症が疑われる場合の対応について、まとめた資料を本号に同封しましたので、参考にしてください。

救急安心センター

#7119 に電話して!

判断に迷った際の相談窓口として、医師・看護師・救急救命士から電話でアドバイスを受けることができます。

- ・救急車を呼んだほうがいい?
- ・病院に行ったほうがいい?
- ・応急手当はどうすればいいの?



事務局だより

◆ 今後の主な予定 ◆

日 程	内 容
8月17日(月)	★7月分会員業務委託料振込日
8月25日(火)	おばあちゃんの手づくり教室(くつしたモンキー)※
9月15日(火)	★8月分会員業務委託料振込日
9月25日(金)	第2回理事会
10月15日(木)	★9月分会員業務委託料振込日
11月16日(月)	★10月分会員業務委託料振込日
11月26日(木)	おばあちゃんの手づくり教室(クリスマス)※
12月15日(火)	★11月分会員業務委託料振込日
12月中旬	第3回理事会
1月15日(金)	★12月分会員業務委託料振込日
2月15日(月)	★1月分会員業務委託料振込日
2月25日(木)	おばあちゃんの手づくり教室(干支飾り)※
3月15日(月)	★2月分会員業務委託料振込日
3月中旬	第4回理事会



※「おばあちゃんの手づくり教室」は事前の申し込みが必要です。詳しくは事務局にお問い合わせください。

◆ 会費納入のご案内 ◆

シルバー会員の年会費（2,000 円）は、会員会費規程により毎年6月末までに納入することになっています。

納入方法は

- ①事務局へ持参する。
- ②郵便局口座へ振り込む（手数料は、会員負担）
 - ・口座番号 普通 02390-9-10151
 - ・口座名義人 公益社団法人
盛岡市シルバー人材センター

③その月の就業実績が 2,000 円を超える場合は、会員業務委託料から控除できますので、希望の方は、事務局へご一報お願いします。

※未納の会員は、早めの納入をお願いします。

◆ 投稿作品を募集しています ◆

「会員の文芸」は、ファンが多いコーナーです。これまでは、短歌・俳句・川柳が中心でしたが、会員の皆様の「得意・自慢・共有したい」等、様々な投稿も広く募集しています。（手作り品などは、写真を事務局までお送りください。）

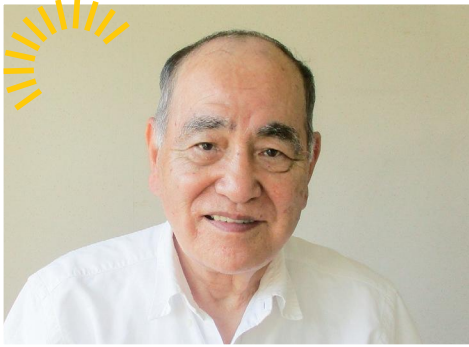


交流の場を作り会員同士の輪を広げましょう。
たくさんの作品をお待ちしています♪

会員の広場

会員インタビュー

- ①入会のきっかけ ②現在の仕事内容 ③就業の際に心がけている事
④趣味 ⑤シルバーの仲間に一言



本荘 秀治さん(79)

(平成24年入会・桜城班)

- ①大阪でホテル業に約30年間勤めたあと、妻の出身地岩手に来ました。当初は仕事をしていませんでしたが、人と交わりたい気持ちになり入会しました。
- ②朝7時過ぎから約2時間、自宅近くの医院の清掃をしています。待合室にいる患者さんや家族の人と時々会話するのが楽しいですね。
- ③診察室や待合室も当然ですが、特にトイレをきれいにしよう心掛けています。感染予防のためマスクは必ず着用しています。
- ④高校まで野球部でした。高校野球を見に甲子園球場にもよく足を運びましたね。もちろん阪神タイガースのファンです！
- ⑤人から教えてもらうときは素直に、仲間と互いにカバーし合いながら働くようにしています。最近は体力が落ちてきたので無理をしないように気をつけています。



穂積 フサ子さん(85)

(平成22年入会・中野班)

- ①シルバーに入りたいと思っていた時に、偶然近所の人も入りたいというので一緒に説明会を聞きに行き入会しました。
- ②5月から10月くらいまでは草取りをやっています。個人宅も施設もあるが、一日やっていると、親指が痛くなることもあります。
- ③丁寧にやるよう心掛けてます。「また次もやってほしい」と言われたり、「ありがとう」と感謝されると嬉しいですね。
- ④地域の仲間と、30年近くさんさ踊りをやっています。市のパレードにも参加したことがあります。
- ⑤シルバーで働くのは、人のためにもなるし、健康ややりがいなど自分のためにもなっていると思います。お互いに頑張りましょう。



南屋敷 康吉さん(79)

(平成24年入会・河南班)

- ①東京で45年働いてから盛岡に来ました。たまたまシルバーのチラシを見て、すぐに入会しました。
- ②入会以来、宿直の仕事がほとんどです。今はビルの宿直をしていますが、老人ホームの宿直をしていたこともあります。
- ③自分ができるからといって契約内容以外のことを引き受けてしまうと、他のメンバーと調和がとれなくなるので、そのあたりは気を遣っています。
- ④趣味は絵を描くこと。市内を巡り季節を感じながら描いています。
- ⑤お金をいただいている以上、粗相のないように、そしてお客様に喜ばれるように働きたいと思っています。一人一人の働きぶりがシルバー全体の信用につながっていることを忘れないようにしています。